

12月13日(日)

地域を盛り上げるイベント 「年忘れフェス」

ゆめパーク牧野において開催された、(一社)みどりと空のプロジェクト主催「年忘れフェス」。当日は、門松作りや竹灯籠作り、電動トラクター乗車体験、薪割り&火おこしなどのさまざまな体験コーナーが設けられました。また、スクワット大会や各種ゲーム大会、サンタさんとの写真撮影会が行われるなど、子どもたちにとってわくわくするイベントが盛りだくさんで開催されました。

主催者代表の山浦理事長は「遠くへ行かなくても地域でこのようなイベントが楽しめるということを感じてもらいたい。また、今回は子どもたちを中心とした内容となっているので、少しでも楽しんでもらい思い出に残ってくればうれしい」と話されていました。



- ①ボールを穴に投げてビンゴを揃えるゲームに挑戦 (各種ゲーム大会)
- ②少し早いクリスマスプレゼント (サンタさんとの写真撮影会)
- ③何回できるかな? みんな必死! (スクワット大会)



このコーナーでは、町で行われたイベントなどを紹介します。



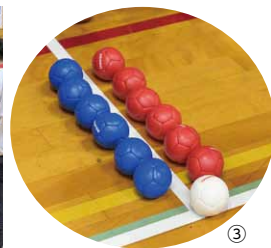
11月4日(水)・25日(水)

初めて挑むパラスポーツ 「ボッチャ体験」

東金特別支援学校の生徒たちで構成されるオリ・パラ推進隊との交流事業として、芝山小学校および芝山中学校において「ボッチャ体験」が実施されました。

千葉県教育委員会から「オリンピック・パラリンピック教育推進校」と「特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業」の二つの指定を受けている東金特別支援学校が、オリンピックやパラリンピックの魅力を伝えるスペシャルチームとして発足したオリ・パラ推進隊。小・中学生に障害者スポーツを伝え、その魅力や競技などを伝えるとともに、一緒にプレーして交流を図り、障害者理解の促進やインクルーシブな社会づくりに努めることを目的に活動しています。

今回、初めてボッチャを体験した芝山小・中学生は、最初は緊張気味にプレーをしていましたが徐々にコツをつかむと、随所にナイスショットを見せるなど試合を盛り上げていました。ボッチャという一つのスポーツを通じて、オリ・パラ推進隊の方との交流を楽しむとともに、パラスポーツを学ぶ1日となりました。



- ①ジャックボールの置き所が重要! (芝山中学校、11月25日)
- ②点数計算について説明を受ける様子 (芝山小学校、11月4日)
- ③ボッチャの意味はイタリア語で「ボール」

12月5日(土)~

淡い光が織りなす景色 「芝山公園イルミネーション」

芝山公園において開催中の「芝山公園イルミネーション」。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、さまざまな催しが中止となる中、地域の皆さんに元気を届けたいという思いから芝山町観光協会が主催しました。

会場全体で約6万球の電球が使用され、特に上空の木々を照らすやわらかな緑色は、7種類の淡い異なる色合いが織りなすこの場所でしか見られない芝山オリジナルカラーとなっています。

点灯式で挨拶をされた飯高観光協会長は「大変な時期だからこそこのきれいな景色を見て前を向いてほしい。2月末まで開催しているのだから、ぜひ多くの方に見に来ていただければ」と話されていました。



- ①全体を彩るやさしい緑色の光
- ②竹炭サークルかぐや姫の皆さんの作品とのコラボ
- ③昨年12月5日に行われた点灯式の様子

しばやま 日より 和

11月13日(金)

寒さに負けず全力疾走 「芝山小学校マラソン大会」

芝山小学校において開催された「マラソン大会」。緊張感が漂う中、ピストルの合図で勢いよく駆け出した子どもたちは、日頃の練習の成果を十分に発揮し、熱いレースを繰り広げました。

終盤になると、呼吸が苦しくなったり、立ち止まりそうになる場面も見られましたが、保護者や先生、友人たちからの温かい声援に後押しされながら、力を振り絞って最後まで走り切りました。

「一つでも順位を上げる」「自己ベストを更新する」「最後まで歩かずに完走する」などそれぞれの目標に向かって精いっぱい努力した子どもたちの表情は、自分の力を出し切った満足感と達成感で溢れていました。



- ①最後のマラソン大会で力走を見せる6年生
- ②両手を挙げてゴール!
- ③元気いっぱい駆け出す子どもたち